

◇健康診断のお知らせ◇

当院では、健康診断を実施しております。予約制となりますので、ご希望の方は受付へお申込みください。

検査項目等詳細は、別紙“健康診断のご案内”をご覧ください。

※H28年3月1日より料金が
変わりました

皆様いかがお過ごしですか？

興村脳神経外科クリニック通信第41号をお届けします。バックナンバーは当院のホームページからも閲覧できますのでご利用ください。

<http://www.okimura-nouge.com/>

地震発生から数週間経過したにも関わらず、なお熊本、大分などの大変な状況が連日報道されています。被害に遭われた方々、その関係者の方々には心からお見舞い申し上げます。地震のニュースを見るたびに「想起」されるのは1995年の阪神淡路大震災や2011年の東日本大震災のことで、ふと他の地震について調べようという気になりました。2004年の新潟県中越地震の存在に気づかされました。もちろん印象には残っていましたが、今回の報道からは「想起」されませんでした。こんな地震報道の間で東京オリンピックの新しいエンブレムが決定したニュースもありました。このデザインが数年後まで「記憶」に残っている方はどのくらいいらっしゃるのでしょうか。

さて今月の話題は『記憶』です。

第21号で人間の記憶は「近時記憶」(少し前に覚えた出来事)から衰えていくというような事を書きました。今回は『記憶』のメカニズムについて触れてみます。『記憶』には『記録』(コンピューターへのデータ入力)、『保持』(データの保存)、『想起』(データの再生)の三段階があると言われています。私の新潟県中越地震の『記憶』は『記録』と『保持』はされていましたが今回『想起』出来なかったという事になります。東京オリンピックの新エンブレムのデザインについては注目度が低かったため今回皆様の頭の中に『記録』すらされていない、そんな気がいたします。『記憶』の『保持』の障害には脳の障害が関わっていることが多いように思います。一方で『記憶』における『記録』や『想起』の障害は様々な要因に影響を受けるようです。大きな心配事を抱え、心がロックされている状態の方は『記録』も『想起』も出来にくい状況になっていると言えます(コンピューターのスイッチが入っていない状態です)。データ入力も再生もスイッチの入っていないコンピューターでは不可能という訳です。私のクリニックに『記憶』が心配で来院された患者さんの中には脳神経外科の病気でない方も多くいらっしゃいます。そんな患者さんに対して今後進むべき適切な道を示して差し上げる、そんなクリニックをスタッフとともに目指していきたいと思っています。

◇当院からのお願い◇

- ◆月初めには、保険証の提示をお願いいたします。70歳以上の高齢受給者証をお持ちの方は、保険証と一緒にご提示ください。
- ◆お電話にてご予約される際は、まず診察券番号とお名前をお伝えくださいますようお願いいたします。
- ◆お引越し等で住所・電話番号が変更になった際は、お知らせください。

今後とも、クリニックならびにクリニック通信にご指導いただければ幸いです。

興村脳神経外科クリニック